

地元の特色ある取組や活動に参加することで郷土を愛する心を育む

徳島県立吉野川高等学校
吉野川市鴨島町喜来681-9
0883-24-2117

ねらい

【子ども食堂の運営を通じて、郷土愛を育む】

子ども食堂は、子どもへの食事の提供、孤食の解消、食育及び地域交流の場として、近年注目を浴びている。吉野川市においても、鴨島児童館において、3ヶ月に一度の割合で実施されており、家庭クラブ員、社会問題研究部、生徒有志が参加している。そこで、生徒が来店者の受付、配膳、子どもとの交流を通じて、地域の問題を考えるきっかけとしていく。

【菊の栽培を通じて、先人の教えから郷土愛を育む】

吉野川高校の位置する吉野川市は、古くから菊の栽培が盛んですが、栽培をしているのは主に高齢者であり、このままでは技術の伝承が途絶えてしまうことになります。農業科の生徒たちが、こうした技術を伝承する機会を設け、郷土愛を育むきっかけとしていく。

取組の概要

子ども食堂での取組の成果

【子ども食堂運営に携わることで郷土愛を育む】

子ども食堂は、食事の提供を通して孤食を防ぐことが全国的にみて主な目的となっています。本校が参加している子ども食堂は若い家族連れがほとんどで、子育て世代の交流の場となっています。子ども食堂は鴨島児童館が主催し、毎回数十組ほどの家族や子どもの利用がありました。これまでの活動は、子ども食堂での受け付け、配膳等の運営補助をメインに行いました。また、来館される方に生徒が育てた草花を見てもらい、心に潤いを持ってもらおうとパンジー、ビオラ、葉ボタンの植わったプランターも提供させていただきました。生徒たちは、自分たちが主体的に運営に参加していくことで自分事として捉え、地域の抱える課題解決を考えていく機会となりました。



菊栽培での取組の成果

【菊の栽培を通じて、先人の教えから郷土愛を育む】

吉野川市は全国でも菊栽培が盛んな地域ですが、後継者不足により菊の栽培をする人が少なくなってきました。そこで、生物活用科2年生を対象に菊栽培において高い技術を有する鴨島菊友会の3名を講師として、10回のご指導をいただきました。また、10月25日（金）から吉野川市役所イベント広場で開催された『第83回鴨島大菊人形・第92回四国菊花品評会』の「立菊六鉢花壇」の部に本校も出展しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、ご指導いただいた谷澤秀夫先生が県知事賞、香川直也先生が準優勝並びに国華園賞を受賞されていました。生徒たちも、このように素晴らしい技術を持った先生方から指導を受けたことを改めて実感し、伝統文化の継承に意欲を高めていました。

